

第8回 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会

会 議 録

1. 会議名 第8回北杜市中部横断自動車道活用検討委員会
2. 開催日時 平成27年3月24日（火） 午後2時～午後3時15分
3. 開催場所 北杜市役所 西会議室
4. 出席者（敬称略）

出席委員：大山 勲、雨宮正行、原かつみ、三井 茂、利根川昇、井口哲郎、千野憲治、小林健展、小幡 宏、乙守和人（代理）、中村 学、菊原 忍（代理）、田中幸男（代理）

欠席委員：室田泰文、古屋賢仁、長坂 正、興水順彦、浅川力三、小池明智

事務局：神宮司建設部長、清水建設部次長、土屋道路河川課長、道路河川課維持管理担当
中田、小尾

会議録署名委員 雨宮 正行、原かつみ

5. 議題

① 開会

② 委員長挨拶

③ 議事

(1) ワークショップ開催結果について

(2) 道路プラン（案）について

(3) 今後の進め方（案）について

(4) その他

④ 閉会

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 9名

8. 審議内容（司会進行：事務局）

① 開会

- ・事務局より開会の挨拶

② 委員長挨拶

- ・ワークショップの報告を受けるとともに、今後の進め方について審議頂きたい。

③ 議事

（検討委員会設置要綱第6条2項の規定により大山委員長に議長をお願いする。）

(1) ワークショップ開催結果について

- ・伊藤氏（ファシリテータ）より、資料－1に基づきワークショップ開催結果について説明。

（委員長）次年度は少しテーマが変わるかもしれないが、引き続きワークショップが行われると理解している。

(2) 道路プラン（案）について

- ・事務局より、資料－2－1、資料－2－2に基づき、道路プラン（案）について説明。

（委員長）今回の道路プラン（案）はワークショップの意見に基づいたものであり、今後は専門的な知見などを加えていく必要がある。

歴史的、文化的価値の文章記載はあるが、道路プラン（案）としては記載がない。ワークショップで具体的な意見が出なかったこともあるが、今後検討していく必要がある。

環境・景観の道路プラン（案）の【道路構造】「周辺景観と調和した橋梁形式の採用」は、橋梁形式だけではないので「橋梁形式などの採用」に修正したい。

（委員）観光の道路プラン（案）の休憩施設について、サービスエリア、パーキングエリアなどの休憩施設を想定していると思うが、位置的な想定をされているのか。

（委員）活用検討委員会では、ルート帯付近での地域資源や今後の計画におけるコントロールポイント、整備の際の配慮事項などを議論している過程と認識している。サービスエリア、パーキングエリアの設置は決まっていないし、有料

無料によって変わってくる。現時点では、北杜市の道路プラン（案）として、休憩施設の設置という意見があったということを確認できれば良いと思っている。それらを踏まえながら関係法令、技術基準やコスト等の観点から検討し、計画を具体化していくこととなる。

（委員長）道路プラン（案）の（案）は今後外れるのか。

（事務局）本日の道路プラン（案）は最終的なものではなく、今後、市民の取組プランを進めていく上で加除修正が出てくる。今回は、中間とりまとめとして作成したい。

（委員）「北杜市を通過するだけの道路ではないための取組」という記載が必要である。

（事務局）追加する。

(3) 今後の進め方（案）について

・事務局より、資料－3に基づき、今後の進め方（案）について説明。

（委員）市民の取組プランの中に、地域住民自らとあるが、北杜市全体なのか、道路周辺の人達なのか。

（事務局）市民の取組プランは、北杜市全体に帰するものであるため、北杜市全体である。

（委員長）まちづくりビジョンや今後の市民の取り組みプランは、北杜市全体のまちづくりの議論になってくるだろう。第9回委員会での議論になるかもしれないが、北杜市は都市計画区域に入っていないため、土地利用規制は条例で進めることになる。インターチェンジ周辺での乱開発の可能性もあり、将来の地域像や北杜市に対して土地利用をコントロールして欲しいなどのまちづくりの視点の話も念頭に置きながら考えて欲しい。

(4) その他

・事務局より、資料－4に基づき、北杜市まちづくりビジョンの修正案、参考資料に基づき、広報活動について説明。

（委員長）委員からの異論もないため、資料－4の修正について了解する。

（事務局）道路プラン（案）は委員長に確認して頂き、今年度の中間とりまとめという形で諮らせて頂きたい。市民の取組プランと道路プランの最終とりまとめは

来年度を予定している。

4 閉会 事務局

会議終了 午後3時15分